

現代美術のアートフェア「ART OSAKA 2026」多彩な関連プログラムを実施
見るだけではない、アートとの出会いへ



現代美術のアートフェア「ART OSAKA 2026」は、2026年5月29日(金)～31日(日)にコンgresクエア グラングリーン大阪(うめきた)で開催するGalleriesセクション(のべ52ギャラリー参加)と、5月28日(木)～6月1日(月)にクリエイティブセンター大阪(名村造船所大阪工場跡地/北加賀屋)で開催するExpandedセクション(13組参加)の二拠点で実施します。

Galleriesセクションでは、「Galleries」「Focus」「Wall」「Screening」の4タイプ構成へ再編し、ギャラリーごとの視点や作家の表現がより明確に伝わる場を形成します。一方、Expandedセクションでは、造船所跡地の空間を活かした大型作品やインスタレーションを展開し、作品と空間、鑑賞者の関係性に踏み込んだ体験を提示します。

本年も、展示に加えて多様な関連企画・イベントを実施します。

会場で作品と出会うだけでなく、それぞれの視点から現代アートに触れ、考え、関わるための機会をひらきます。

<https://www.artosaka.jp/2026/jp/event/>



遠山正道氏

関西の1990年代アートシーンを見つめ直す企画展「もうひとつの90年代時代を超える関西の作家たち」では、当時の社会背景とともに、現在へとつながる表現の流れをあらためて捉え直します。ギャラリストの視点と作家自身の言葉を手がかりに、ひとつの時代を立体的に読み解きます。

トークイベント「Art is New Value—アートがひらく新しい価値」では、コレクションや事業を通じてアートに関わってきた遠山正道氏を迎え、作品を「所有すること」や「生活の中に位置付けること」について考えます。アートとの関わりを、自分の生活に引き寄せて考える時間となるはずです。

また、FUKUGAN GALLERY(大阪)との共催企画「ムラタカイワイアメ村今昔」では、大阪・アメリカ村のカルチャーを軸に、アート、音楽、古着などが交差してきた場の変遷と現在を紹介します。展示に加え、出店やパフォーマンス、ライブなどを通して、異なる領域がゆるやかに混ざり合う空間が立ち上がります。さらに、小中学生を対象としたワークショップ「おしゃべりアート時間～現代アート探検隊～」では、作品を見て感じたことや疑問を言葉にしなが、他者と共有することで鑑賞を深めていきます。知識や正解にとらわれず、それぞれの感覚を起点にアートと向き合う時間をつくります。



共催企画 | ムラタカイワイアメ村今昔—メインビジュアル

お問合せ先：一般社団法人日本現代美術振興協会 | APCA

【取材・掲載のお問い合わせ】

担当：田原

press02@artosaka.jp | 090-4278-2924

【アートフェアに関するお問い合わせ】

ART OSAKA事務局 担当：川西/室谷

info@artosaka.jp | 06-6777-8303

それぞれのプログラムは、過去を見つめ直すこと、社会との関係を考えること、異なる文化が交わる場に立ち会うこと、そして自分自身の感覚からアートに触れることへとつながっています。はじめての方も、これまで親しんできた方も、それぞれのかたちでアートと出会えるように。「ART OSAKA 2026」は、現代アートとの多様な関わり方をひらいていきます。

なお、4月15日(水)まで大変お得な早割チケット(最大1500円OFF)もご用意しており、販売終了間近です。

気軽に足を運んでいただける機会となれば幸いです。

<https://www.e-tix.jp/artosaka2026/>

イベント紹介 - Galleries セクション (うめきた)

イベント① 【企画展】 もうひとつの90年代 時代を超える関西の作家たち

近年、1980年代の日本美術を物語る企画展が国公立美術館で相次ぐ中、その後の1990年代とはどういう時代だったのでしょうか。バブル経済(1986-91)が崩壊し、就職氷河期(1993-2004)がはじまり、1995年に阪神淡路大震災とオウム真理教の地下鉄サリン事件が発生、1997年は大手金融機関が破綻。美術界においては、1992年に横浜で現代美術の大規模な国際アートフェアNICAFが開幕し、1994年に第1回VOCA展、1995年には東京都現代美術館が開館する中、1999年にセゾン美術館が閉館。不穏な時代の幕開けであり、失われた30年のはじまりといえます。

本展では、既存の美術史とは異なるもうひとつの流れとして、ギャラリストの視点から関西ゆかりの作家による1990年代の貴重な作品を紹介いたします。美術家の個展やグループ展のスタートはギャラリーからはじまり、やがて美術館の展覧会が後を追います。その意味で、ギャラリーの企画展は現代美術の最前線といえます。

あわせて今回、出品作家より当時を振り返るテキストを寄稿いただいています。それらは、90年代を単なる過去としてではなく、今日へと連なる思考の起点として再考するための重要な証言となるでしょう。ギャラリストのまなざしから90年代美術を検証し、さらに既存の美術史が見落としてきた質の高い表現を洗い出し再評価することで、日本のニュー・アート・ヒストリーを創造する展覧会になればと考えます。

Another'90s

Kansai Artists Beyond Time

もうひとつの90年代——時代を超える関西の作家たち

Another'90s Another'90s

企画展 | もうひとつの90年代 時代を超える関西の作家たち メインビジュアル

会 期:5月29日(金)-31日(日)*フェア開催時間に準じる

会 場:コンGRESSクエア グラングリーン大阪 ロビー

入場料:無料

出展作家:赤崎みま、児玉靖枝、松井紫朗、中川佳宣、押江千衣子、館勝生、田嶋悦子

キュレトリアルアドバイザー:加藤義夫(APCA理事/加藤義夫芸術計画室)

協力:アートコートギャラリー、ギャラリーノマル、イムラアートギャラリー、西村画廊、サードギャラリーAya、Yoshimi Arts

イベント紹介 - Galleries セクション (うめきた)

イベント② トーク | 90年代再考：美術館と画廊の視点

兵庫県立美術館の林洋子館長は、1995年に東京都現代美術館の学芸員として開館記念展「日本の現代美術 1985-1995」の企画に加わりました。その一方で、当時ギャラリストだった加藤義夫氏は1993年にイタリアとドイツを巡回する「90年代の日本-13人のアーティストの提言」展を企画しました。本トークでは、90年代のアートシーンを振り返り、美術館と画廊の視点の違いなどを見つめ、さらに現在のアートについても言及したいと思います。



(左から)林洋子氏、加藤義夫氏

日 程:5月30日(土)13:00-14:00

会 場:コンgresクエア グラングリーン大阪 ルームL

登壇者:林洋子(兵庫県立美術館 館長)、加藤義夫(弊社理事/加藤義夫芸術計画室)

*本フェア入場チケットの購入が必要です。

イベント③ トーク | Art is New Value—アートがひらく新しい価値

アート作品を所有することは、単なる消費行為ではなく、アーティストの創作活動を支え、同時代の文化を次世代へと手渡していく行為でもあります。またコレクションは、経済的な価値にとどまらず、教育的な視点や思考の広がり、さらには価値観の継承といった長期的な視点においても大きな意味を持つものです。

本トークでは、スマイルズの創業者であり、現在はArtSticker等を運営するThe Chain Museum 代表取締役の遠山正道氏をお迎えし、ご自身のコレクションに対する考え方や実践を軸に、現代美術と社会、そして「生活の中にアートを位置付けること」についてお話を伺います。

また、これまで遠山氏が手がけてこられた多様な事業についてもご紹介いただき、コレクションや支援のあり方が、いかにして新しい文化的循環を生み出しているのかをお聞きします。

本トークイベントを通じて、アートを所有すること、支えること、生活・社会の中で位置づけることの意味を改めて問い直し、これからの現代アートの「新しい価値」について考える機会とします。



遠山正道氏

日時:5月30日(土) 15:00-16:00

会場:コンgresクエア グラングリーン大阪 ルームL

ゲスト:遠山正道(株式会社 The Chain Museum 代表/株式会社スマイルズ 代表)

聞き手:松尾良一(APCA理事/TEZUKAYAMA GALLERY 代表)

定員:50名程度 *事前予約優先制

*本フェア入場チケットの購入が必要です。

イベント紹介 - Expanded セクション (北加賀屋)

イベント④共催企画 | ムラタカイワイーアメ村今昔一

Expandedセクションでは、FUKUGAN GALLERYとの共催により、関西ストリートカルチャーの聖地・アメリカ村(大阪・心斎橋)の変遷と現在地を照射する特別企画を開催します。

1970年代後半以降、古着や音楽、独自の若者文化を育ててきたアメリカ村。その磁場の一端を担ってきたのが、多様なアーティスト、クリエイターやショップ店主たちが夜な夜な集った「ムラタ酒店」界隈のコミュニティです。本企画では、同酒店から派生し、四半世紀にわたり現代美術とサブカルチャーを繋いできたFUKUGAN GALLERYの視点を通じ、ミナミの街に息づく重層的な文化を再構築します。

会場では、現代美術、音楽、ファッション、そして「立ち飲み」的な交流の空気感までを混交させた展示とライブイベントが開催されます。特定のジャンルに収まりきれない大阪ミナミの創造性をぜひ体感ください。

■展示

池島勘治郎 / 宇加治志帆 / 栗田咲子 / 田中秀和 / 大野雅彦 / 佐伯慎亮 / 冬木遼太郎 / CASPER / 水内義人

■出店

ブルジョンレコード / レコードあんぐらあ / アルケミーレコード / おしゃれ童子 / Aimal Taylor / フォーエバーレコード / 【鏡と窓】レヴェイユ小夢 / 村田酒店名村出張所 ほか

■イベント

28日(木)宇加治志帆 パフォーマンス 29日(金)ONI ポリフォニーワークショップ

30日(土)ボニ♡ボニー ダンスショー

31日(日)古谷高志×サハラクミコ トーク 随時:MeNeMa aka syabusyabu パフォーマンス / 水内義人 パフォーマンス

■ライブイベント

日時:5月30日(土),31日(日) open 17:30 start 18:00-

【出演】

30日(土)シモーヌ深雪 / 快眠亭アキラと夢コ / Hiroko / DESTROMO(大野雅彦) 31日(日)オシリペンペンズ / KA4U



共催企画 | ムラタカイワイーアメ村今昔一 メインビジュアル

日時:5月28日(木)-6月1日(月)

5月28日(木)13:00-19:00 / 29日(金)11:00-19:00

5月30日(土)-31日(日)11:00-20:00

6月1日(月)11:00-16:00

=ライブイベント=

日時:5月30日(土),31日(日) open 17:30 start 18:00-

ライブチケット:各日3,000円

会場:STUDIO PARTITA クリエイティブセンター大阪(名村造船所大阪工場跡地)

入場料:無料(一部イベントは有料)

主催:FUKUGAN GALLERY

共催:ART OSAKA

音響アドバイザー:吉田涼

協力:一般社団法人maruroom

イベント紹介 - Expanded セクション (北加賀屋)

イベント⑤ インスタライブ | Expanded 作品解説ツアー



インスタライブ | Expanded 作品解説ツアー 昨年の様子

大型作品やインスタレーションに特化した「Expandedセクション」の出展作家やギャラリストが作品の見どころを解説します。ぜひ、ご視聴ください。

インスタライブは、ART OSAKAの公式アカウントから配信します。

日時:5月28日(木) 16:00-17:30

会場:クリエイティブセンター大阪

進行:櫻岡聡(APCA理事/FINCH ARTS 代表)、井川菜代(おしゃべり
アートライター)

イベント⑥ ワークショップ | おしゃべりアート時間 ~現代アート探検隊~
自分だけのフシギを見つけよう!

現代アートって、なんだか難しそう?もしそう思っていたら、もったいない!ここで大切なのは、知識や正解ではありません。大事なのは、作品をじっくり見て「おっ!」と心が動いたり、「これって何?!」と不思議に思ったりする、キミだけの感覚。「クッス」と笑っちゃうのも、立派なアートの楽しみ方です。このワークショップでは、仲間と一緒に感じた「フシギ」について自由におしゃべりしながら、会場に並ぶ最新のアート作品を探検します。一人で見るときには気づかなかった「新しい世界」が、みんなの言葉を通してきっと見つかるはず。「アートって、どう見ればいいの?」その疑問がワクワクに変わる瞬間を、一緒に体験しませんか?

日時:5月30日(土)、31日(日) 各日 11:00-12:00 / 13:30-14:30 (全4回)

会場:クリエイティブセンター大阪

対象:小学3年生~中学3年生

定員:各回10名*事前予約制

参加費:無料

講師:andminna

*参加者は、動きやすく汚れても良い服装でお越しください。

*保護者のご入場には、本フェアの入場チケットの購入が必要です。予約完了メールにて、500円OFFクーポンコードをお送りいたします。

イベント⑦ トーク | 社会にひらくアートのかたち—別府と大阪の取り組み

アートは社会や都市とどうつながり、私たちの視点をどう変えるのでしょうか。別府で「BEPPEU PROJECT」を立ち上げ「混浴温泉世界」などの地域とアートをつなぐプロジェクトを長年手がけている山出淳也氏と、JR西日本グループで「Nishi Nippon ARTrail」など複数の共創事業をプロデュースする出口清史氏が対談します。トークの進行は、現代美術や文化政策を専門に、数々のプロジェクトに携わる木ノ下智恵子氏が務めます。



(左から)山出淳也氏、出口清史氏、木ノ下智恵子氏

日時:5月31日(日) 16:00-17:30

会場:クリエイティブセンター大阪

登壇者: 山出淳也(Yamaide Art Office株式会社)、出口清史(JR西日本
SC開発株式会社)

進行:木ノ下智恵子(大阪大学21世紀懐徳堂 准教授)

定員:20名程度*事前予約優先制 本フェア入場チケットの購入が必要
です。

イベント紹介 - Expanded セクション (北加賀屋)

イベント⑧ 【特別公開】北加賀屋アート関連施設



MASK (MEGA ART STORAGE KITAKAGAYA)

会期:5月29日(金)-31日(日)

参加施設:

MASK (MEGA ART STORAGE KITAKAGAYA)

Super Studio Kitakagaya (SSK)「Open Studio 2026 Summer」

モリムラ@ミュージアム(M@M)「森村泰昌 BEKKAN 別館」[4月24日(金)~7月20日(月・祝)]

B.O.H.(kagoo)「ISOKON」

千鳥文化ホール「ミヤザキ個展」[5月28日(木)~6月28日(日)]

共催企画 (心齋橋)

共催企画 | ART OSAKA in PARCO Re:SPEC — 90s の遺伝子と多層世界

昨年に続き2回目となるART OSAKAと心齋橋PARCOのコラボレーション企画です。今回は「Re:SPEC」をテーマに、90年代のアートが提示した視点を現代へとアップデートする気鋭の作家3名を紹介します。それぞれの表現が交差する多層的な世界観が、PARCOの空間に広がります。

ART OSAKA in PARCO

Re:SPEC

90sの 遺伝子と 多層世界

4.24 Fri. - 6.22 Mon.



会期:4月24日(金)-6月22日(月)10:00-20:00 ※館の営業時間に準ずる

場所:心齋橋PARCO 1F,2F,3F,14F PARCO Wall Gallery

主催:一般社団法人日本現代美術振興協会(APCA)

共催:心齋橋PARCO

出展作家:中迫梨恵(ピーク585ギャラリー)、山田紗世(gekilin.)、山田千尋(ギャラリーノマル)

開催概要

ART OSAKA 2026 Galleriesセクション *ブース形式のセクション

会場:コングレスクエア グラングリーン大阪

住所:大阪市北区大深町5-54 グラングリーン大阪 南館4階

会期:2026年5月29日(金)~5月31日(日)

VIPプレビュー 29日(金) 13:00-15:00 ※VIP招待の方のみ

プレビュー 29日(金) 15:00-19:00 ※VIP、招待者、プレス関係者のみ

一般公開 30日(土) 11:00-19:00 / 31日(日) 11:00-17:00

(一社)日本現代美術振興協会は、「ART OSAKA 2026 Galleriesセクション」を保税展示場として使用する許可を大阪税関よりはじめて取得いたしました(2026年2月25日)。

出展ギャラリー: *初出展

Galleries(28軒) ※幅広く作家を紹介するスタンダードブース

AaP/roidworksgallery(東京)、AKIINOUE*(東京)、アートコートギャラリー(大阪/京都)、アートゾーン神楽岡(京都)、AWASE gallery(東京)、biscuit gallery(東京)、CANDYBAR Gallery(京都)、FUMA Contemporary Tokyo | 文京アート(東京)、GALERIE STEPHANIE*(フィリピン)、gallery蓮依(神奈川)、GALLERY麟(東京)、ギャラリー石榴(長野/東京)、Gallery Shilla(韓国)、GALLERY TOMO(京都)、イムラアートギャラリー(京都)、川田画廊(兵庫)、KOUICHI FINE ARTS(大阪)、MAKI Gallery(東京)、Marco Gallery(大阪)、メグミオギタギャラリー(東京)、MORI YU GALLERY(京都)、西村画廊(東京)、s+arts(東京)、SOM GALLERY(東京)、√K Contemporary(東京)、TEZUKAYAMA GALLERY(大阪)、Woong Gallery*(韓国)、Yoshiaki Inoue Gallery(大阪)

Focus(15軒) ※個展または二人展形式のブース

AISHO(東京/香港)、ピーク585ギャラリー*(大阪)、カペイシャス(大阪)、eitoeiko(東京)、EUKARYOTE(東京)、ギャラリーかわまつ(東京)、ギャラリーMOS(三重)、ギャラリーノマル(大阪)、gallery Unfold(京都)、KOKI ARTS(東京)、LEESAYA*(東京)、MEM(東京)、Nii Fine Arts(大阪)、Otherwise Gallery(東京)、the three konohana(大阪)

Wall(6軒) ※壁面に特化したプレゼンテーション

gekilin.(大阪)、MtK Contemporary Art*(京都)、サロンモザイク(大阪)、橘画廊(兵庫)、TomuraLee*(東京/ベトナム)、Yu Harada(東京)

Screening(3軒) ※映像作品をメインとしたブース

gallerychosun(韓国):Bo Na Park、ギャラリーほそかわ+TEZUKAYAMA GALLERY(大阪):大崎のぶゆき、MORI YU GALLERY(京都):西山修平

ART OSAKA 2026 Expandedセクション *大型作品・インスタレーションに特化したセクション

会場:クリエイティブセンター大阪(名村造船所大阪工場跡地)

[事務所棟、赤鉄骨、青鉄骨、スタジオパルティッタ]

住所:大阪市住之江区北加賀屋4-1-55

会期:2026年5月28日(木)~6月1日(月)

一般公開:28日(木) 13:00-19:00 / 29日(金)-31日(日) 11:00-19:00 / 6月1日(月) 11:00-16:00

出展作家:

アンチテイルー 国谷隆志、はしもとともこ(+1art、大阪)/ 深川瑞恵(GALLERY IDF、愛知)/ 井出日出志(MORI YU GALLERY、京都)/ 伊勢崎寛太郎(GALLERY KOGURE、東京)/ 小泉遼(SH GALLERY、東京)/ Lai Ko-Wei(Der-Horng Art Gallery、台湾)/ 三苦ケイト(hakari contemporary、京都)/ 宮田彩加(YOD Gallery、大阪/京都/東京)/ 村本剛毅(MUG、東京)/ 西本剛己(TEZUKAYAMA GALLERY、大阪)/ 笑うが虹へー 玉住聖、井川剛志(gekilin.、大阪)/ 相良育弥(Wa.gallery、大阪)/ 鈴木淳夫(AIN SOPH DISPATCH、愛知)

開催概要

■チケット情報

チケット：<https://www.e-tix.jp/artosaka2026/>【4/15 早割チケット販売終了間近！】

ART OSAKA チケット 3,000円（オンライン決済）当日現地払い：3,500円

早割チケット 2,500円 / ペアチケット 4,500円（販売期間：-4月15日）

各セクション券もご用意いたします。

*2セクション間では金～日、無料シャトルバスが運行予定です

■主催・協賛

主催：一般社団法人日本現代美術振興協会 | APCA

APCA JAPAN

協賛・協力

【特別協賛】  千島土地株式会社

【協賛】     
       
         

三菱地所株式会社、三菱UFJフィナンシャル・グループ、株式会社りそな銀行、株式会社みずほ銀行、株式会社紀陽銀行、泉海商運株式会社、医療法人芳歯会 ウェハシ歯科医院、株式会社ウエアハウス、株式会社宮本工業所、株式会社ステージ、UEK株式会社、清水建設株式会社、大阪ガス株式会社、株式会社サクラレバス、ホテルプラザオーサカ、株式会社竹中工務店、ホルベイン画材株式会社 【協力】株式会社コングレ、グラングリーン大阪、JAM BASE、一般社団法人ナレッジキャピタル、オリックス株式会社、阪急阪神不動産株式会社、ダイナースクラブ、キャンビーbyヒルトン大阪梅田、ホテル阪急グランレスバイア大阪、ウォルドーフ・アストリア大阪、平成コミュニティバス株式会社、株式会社Luup
【後援】大阪府教育委員会、公益財団法人大阪観光局、一般社団法人関西経済同友会、駐大阪韓国文化院、台北駐日経済文化代表処台湾文化センター、在大阪フィリピン共和国総領事館
【パートナー】Osaka Art & Design 2026、UNKNOWN ASIA、Nishi Nippon ARTTrail、DELTA、ONE ART Taipei

公式ウェブサイト：<https://www.artosaka.jp/2026/jp/>

公式インスタグラム：[instagram.com/artosaka.jp/](https://www.instagram.com/artosaka.jp/)

■広報用素材について

広報用画像およびフェアロゴは、以下のDropboxフォルダにまとめております。掲載の際にご活用ください。

【Dropbox】 <https://x.gd/4EvDC>

ご使用の際は、キャプションの明記にご協力をお願いいたします。また、ご掲載が決まりましたら、掲載紙またはPDFデータを一部事務局までお送りいただくか、掲載先URLをご共有いただけますと幸いです。

なお、最新情報は随時公式ウェブサイトおよびSNSにて更新しております。あわせてご確認ください。

お問合せ先：一般社団法人日本現代美術振興協会 | APCA

【取材・掲載のお問い合わせ】

担当：田原

press02@artosaka.jp | 090-4278-2924

【アートフェアに関するお問い合わせ】

ART OSAKA事務局 担当：川西／室谷

info@artosaka.jp | 06-6777-8303